



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば **監事 石田紘三**

毎年敬老の日の近くなると高齢化問題がクローズアップされるが、自分の年齢も高齢者の一人として意識することとなった。今年の総務省公表の人口推計によると 65 歳以上の高齢者は 3,625 万人で過去最高を更新し 総人口に占める割合も 29.3%と世界一、4 人に 1 人は働く高齢者となっているとのこと。

SEF もご多分に漏れず高齢化に進んでいる。平均年齢 64.0 歳で 2002 年スタートした SEF も今や 77.5 歳。SEF たより 1 号が発刊されたのは 2005 年 4 月 今や 216 号。約 20 年毎月発行されてきた。巻頭言を SEF 理事・監事が順番に書くようになってからも 170 回となった(45 号までは当時の理事長が執筆)。20 年・200 回を超える「SEF たより」は SEF の活動予定・結果報告、活動方針など連綿と発信し続け、会員に親しまれ外部にも発表されてきた。人生 100 年実働 85 歳と言われているこの頃 定年後約 20 年の実働 85 歳は 楽しく充実した人生としたいものだ。

日本男子平均寿命 81.6 歳の現状では 実働 85 歳の下でデジタル世界を無難に楽しむことは結構厳しい。何とかついてこられたのも SEF のお陰とも思っている。

10 月度理事会より (第 251 回 10 月 23 日)		事務局
1. HP リニューアル推進に関する日当・交通費 →可決承認	3. 「NPO 保険団体補償制度」の更新終了 →報告了承	
2. 3 事業部の 2Q 活動報告 →報告了承	4. 2024 年 8 月・9 月度月次会計報告 →報告了承	

事業報告 (時事問題研究会) **担当理事 波多野 正幸**

今年の時事問題研究会の活動テーマは、時事問題はその時代に影響をうけて常に継続しているので、その後をフォローし、取り上げています。政治では 2022 年度からの継続テーマである「ウクライナ危機」について、今年「ウクライナ危機と国際情勢その 7」を取り上げて、現状分析、情勢と背景を研究しました。経済では 2023 年のテーマである「日銀新総裁と異次元緩和その 1」以降の日銀総裁の交代に伴う動きとして、「日銀新総裁と「金融正常化への道」を検証しました。技術分野は 2023 年のテーマの「生成 AI の衝撃その 4(生成 AI の光と影)」を取り上げ、その後の一年の変化と生成 AI の社会的なインパクトを 2 回に分けて研究した。また 2021 年を通して研究した「第 4 の革命 カーボンゼロ」では、その後の技術と社会の変化と影響について「第 4 の革命 カーボンゼロその 9 から 11」を通じて「2022 年以降の全般的な動き、技術と業界の動きについて広く研究しています。リモート形式でパソコンを通じて多くの会員と議論し、雑談しながら研鑽と親睦を図っています。新たなテーマにもチャレンジします。

SEF サロン (第 137 回案内) **担当理事 白崎 善宏**

《 第 137 回案内 》

- 日時 : 11 月 20 日(木) 15 時~16 時 30 分 Zoom
- 講師 : 高田 真司氏 (第一高周波工業(株) 執行役員技術部長)
- 講演題目 : 「高周波誘導加熱(IH) 技術の特徴と応用事例のご紹介」
- 講演概要 : 第一高周波工業(株)のコアな技術ある誘導加熱(Induction Heating、以降 IH と略記)について、IH 技術の特徴と適用事例等について紹介する。地球温暖化防止の為に CO2 排出量削減や CN 推進の重要性が認知される一方、エネルギーキャリアとしての電気の優位性は当分揺るぎないと思われる。そこで、電力を熱エネルギーに変換する最も高効率な 手段で、かつ精密な出力制御も容易な IH は、あらゆる対象物の加熱源として適用範囲を更に広げつつある。第一高周波工業(株)は管の高周波曲げや樹脂ライニング、金属部材の熱処理、土木建築の定着鉄筋の塑性加工、ボイラー管等の耐高温腐食の溶射・フェーズ、各種金属の溶解装置、劣化した塗装皮膜の剥離等で、多くのインフラや設備、装置、機械の製作、メンテナンスに古くから IH を適用している。また、IH の電源装置の設計製作、販売も行っている。今回はこれらの内容と、今後更に社会的な需要が高まる環境、リサイクル分野への IH 技術の展開について報告する。

10 月度会員動向		事務局
会員の入退会 なし	10 月末日現在の会員数 正会員 : 26 名、 準会員 : 48 名、 賛助会員 : 6 社	